

ころもがわ



見守る生徒たちの間を風のように走り抜ける朝原さん

北京オリンピック男子400メートルリレーで銅メダルを獲得した朝原宣治さんを迎えた、岩手・宮城内陸地震復興支援事業「元気な子供たち応援」講演会は6月18日、衣川中学校で行われ、区内の小中学生ら約250人がメダリストの講演に耳を傾けました。

朝原さんは「あきらめなければ夢は叶う」と題して、悲願のメダル獲得までの努力と長い道のりを中心に披露し、講演後に短距離走の実技指導も行いました。生徒代表の三浦勝君＝衣川中3年＝は「講演で夢を持ちあきらめないことを学んだ。これからの生活に生かしたい」と感謝のこぼしを話していました。

メダリストから「夢」学ぶ
「元気な子供たち応援」講演会

まちの話題



大型加速器建設へ関心高く

第57回加速器科学研究会



満席となった会場でILCについて講演する吉岡正和教授

質量の起源や宇宙の成り立ちなどを解明する国際リニアコライダー（ILC）計画の研究会「第57回加速器科学研究会」（社国際経済調査会主催）が6月6日、市文化会館（Zホール）で開かれました。ILCは、地中に建設した全長31～50キロメートルのトンネルの中で、光速まで加速した電子と陽電子を衝突させて得られる状態を利用して研究する超精密実験施設です。研究精度を高めるために安定した地盤が必要となりますが、本市江刺区を含む北上高地は、地質的に優れた地域であり、建設候補地の一つになっています。

今回開かれた研究会では、大型加速器建設の第一人者である高エネルギー加速器研究機構の吉岡正和教授が、ILC計画について講演を行いました。会場は一般市民や企業関係者ら約500人で超満員となるなど、ILCへの関心の高さがうかがえました。

まえさわ

青空の下で日本一の味堪能 第25回前沢牛まつり



おいしい前沢牛とビールで乾杯

ことして25回目となる前沢牛まつりは6月7日、前沢いきいきスポーツランドを会場に開催されました。全国各地から訪れた4万人の来場者が、さわやかな青空の下、肉質日本一を誇る前沢牛の焼肉や一日をとおして繰り広げられたイベントを満喫しました。

この祭りは、前沢牛を格安で味わってもらおうと毎年6月の第1日曜日に開催しているもの。特設ステージ上では、人気の「牛の鳴きまねコンテスト」や「奥州ステージ」が繰り広げられました。フィナーレには歌手の千昌夫さんが登場し、「北国の春」などたくさんのヒット曲を披露し、観客を大いに魅了しました。

音楽を通して地元を元気を 奥州ロックフェスティバル

震災チャリティイベント「奥州ロックフェスティバル～払暁～」が6月14日、市文化会館中ホールで行われました。出演したアーティストがパワフルなステージを繰り広げ、約400人の観客を魅了しました。

市内の若者で組織する実行委員会（小竹光昭委員長）が「地震で大きな被害を受けた地元を元気を届け、若い世代の市民に夢や希望を持ってもらいたい」と願い開催したもの。趣旨に賛同した太陽族、STANCE PANKS、ロリータ18号、D≠STAR HATEら全国的に活躍するバンドと、地元のPUNK DRUNKER'Sが、震災1年を迎えた市内に元気を届ける競演をしました。



あこがれのバンドの演奏に大歓声

みずさわ

いさわ

焼石に登山シーズンが到来 栗駒国定公園焼石連峰山開き



新緑の中を元気良く進む登山者

栗駒国定公園焼石連峰山開きが6月7日、胆沢区若柳のつぶ沼園地で行われ、関係者など約70人が参加しました。シーズンの安全を願う神事が終わると、愛好者らは早速山頂を目指して登山を始めました。

昨年の震災の影響で、1年近く登山ができなかった焼石岳。現在通行できるつぶ沼コースにも一部「つめ跡」が残ります。当日は崩落箇所などに十分注意しながらの登山でしたが、この日を待ちわびていた愛好家は、一歩一歩踏みしめるように山道を進んでいきました。焼石岳自慢の高山植物は、真夏にかけて見ごろを迎えます。

新たなにぎわいで活気呼ぶ 街なか産直「川楽市場」オープン

街なか産直「川楽市場」が6月19日、江刺区川原町商店街にオープンしました。開店前から約100人の買い物客が列をなすなど、初日から多くの市民が訪れ、街に新たな活気を呼び込みました。

この施設は奥州商工会議所江刺支所が空き店舗を活用して整備。市の雇用創出事業の一環として、市内の求職者3人を新規雇用しています。店舗では区内の4つの産直施設（夢の里工房はらたい、笹ノ田無人直売所、産直やながわ、米里産直）の協力により、新鮮な野菜や加工品など地元ならではの商品を取りそろえています。営業は年中無休、午前10時から午後6時まで。



関係者によるテープカット

えさし